

# 平日の集客力アップへ

## 三朝温泉と地元病院など連携

三朝町と三朝温泉観光協会、三朝温泉旅館協同組合などが地元の医療機関と連携し、温泉と農業体験、医療を組み合わせた「滞在型保養プラン」を売り出す。5泊6日の長期滞在型のパック商品を作り、カニシーズン以外の春・夏場と平日の温泉街全体の集客力を高める。

町内で温泉治療ができる岡山大学病院三朝医療センター、中部医師会立三朝温泉病院と連携して実施。世界有数のラジウム含有量を誇る温泉を生かし、他の温泉地にはない、温泉医療と結び付けた滞在型保養温泉地を目指す。9月7日から同観光協会のホームページで募集を始める。

三朝温泉は2008年の年間宿泊者数が35万4千人と、ピーク時の約4割まで

温泉 + 農業体験 + 医療 セット

## 滞在型保養プラン作成

来月7日募集開始

宿泊者が減少。このため、11年には宿泊客2万人関係者でラドン温泉プラン アップとしたい考えだ。ド化三朝温泉推進協議会を プランは2種類用意。「気立ち上げてプランを練り上 ままに滞在プラン」は旅館



滞在型保養プランを売り出す三朝温泉＝三朝町三朝

に泊まって農業体験や陶芸体験、電動自転車を利用しての三徳山散策などを体験。さらに、松江市や境港市など周辺の観光地巡りなど自由にプランを立てて過ごしってもらう。

「健康増進プラン」では、町内の二つの医療機関で生活習慣病チェックや温泉浴、温泉プールでの温泉運動療法など医師の指導やアドバイスを受けながら健康増進に役立てる。

現在のところ参加するのは11旅館の予定で、プランは日曜日から木曜日までの5泊6日。メニューにはカローリ表示や生産者・生産地を表示し、健康・安心をうたう。食事選択など料理や料金は各旅館で設定する。10、11月にはモニターツアーを実施、健康レシピ、ガイドマップ作製も手掛け、宿泊者に配布する予定。企画観光課の松浦弘幸次長は「新しい滞在型保養プランで宿泊者全体の底上げを図りたい」と話している。